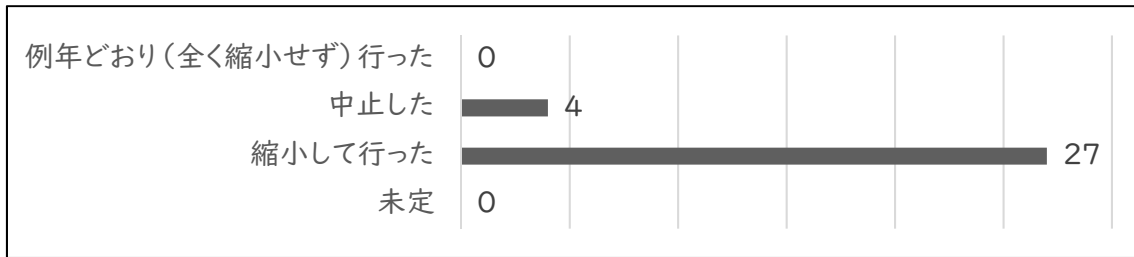


令和3年度 地区の祭り実施状況調査 集計結果

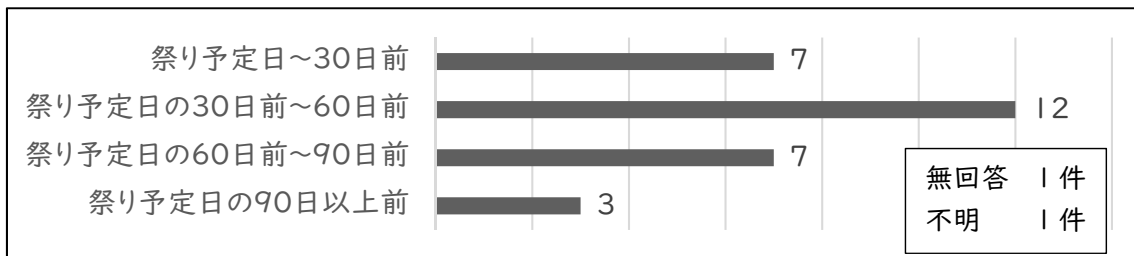
- 1 目的 新型コロナウイルス感染症の影響によるお祭り等の縮小・中止の経過を把握する。
- 2 調査方法 調査票（アンケート）の配布・回収
- 3 調査対象 32 件
 - 長野県指定無形民俗文化財 4 件
 - 安曇野市指定無形民俗文化財 12 件
 - 「安曇平のお船祭り」伝承地区（現行） 16 件※記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択されたもののうち未指定のもの
- 4 回答件数 31 件
- 5 結果概要
 - ・例年どおり開催した団体はなく、27 団体が縮小して実施し、うち神事のみが 24 団体であった。感染対策として参加人数を絞る、三密を避ける、時間短縮などの工夫をしながら実施していた。一方で 4 団体が中止した。
 - ・県内の感染状況や他地区の実施状況を参考に方針決定した団体が多かった。
 - ・自由記載では、中止・縮小が続くことや、人口減により継承に不安を感じている団体が多かった。特に子どもたちの繋がりが切れることを懸念する団体が多かった。
 - ・今後の開催については、市及び県内の感染状況を勘案し、慎重に判断するとしながらも、コロナ禍が明ければ以前と同様に盛大に開催したいという団体が多かった。一方で、感染レベルが低かったとしても、感染への懸念が拭えず、これまでのように開催するのは難しいのではないか、という回答もあった。

6 結果

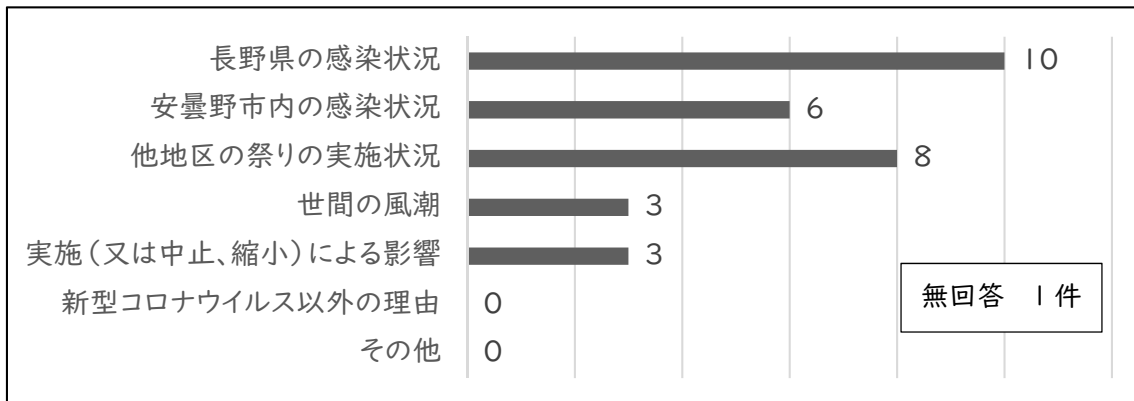
問1 令和3年度の実施状況を教えてください



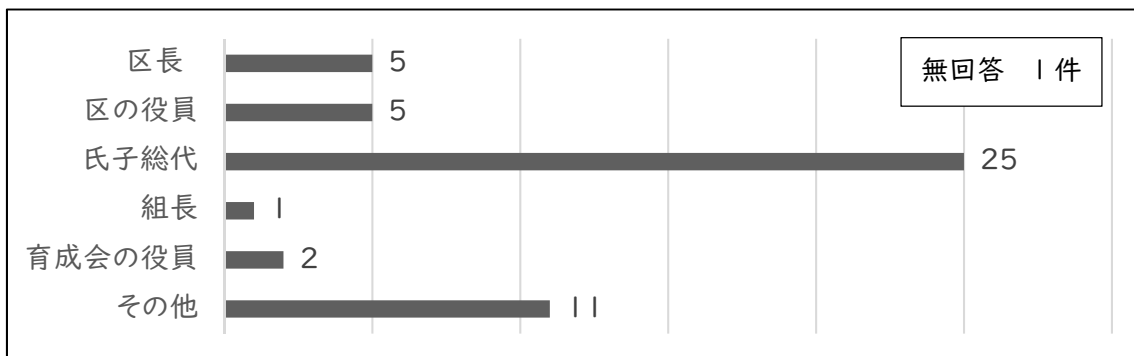
問2 問1について決定したのはいつですか



問3 問1について決定する際、もっとも重視したものを一つ選んでください



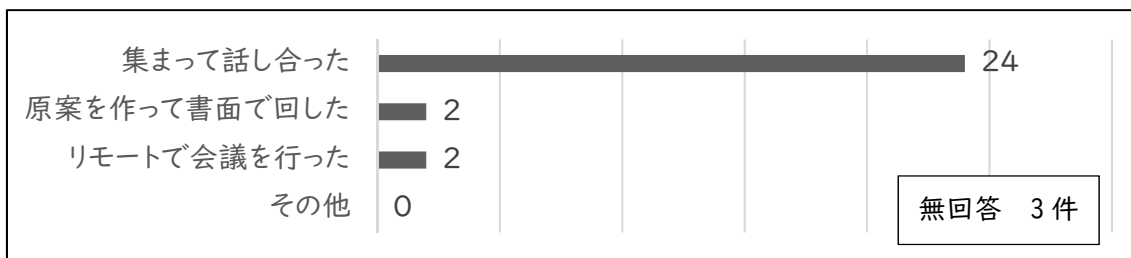
問4 誰が決めましたか(複数回答可)



▼その他

保存会三役、保存会班長・副班長・四役役員・他役員、保存会、実行委員会、会長、祭の担い手の団体、常会長・近隣住民柴船保存会、年番・若連

問5 どのように決めましたか



問6 問5に関する会議録・資料を市教委に提供していただけますか

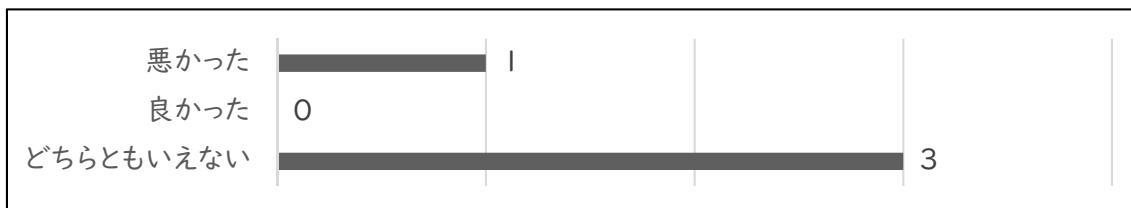


【例年どおり行った場合】

回答無し。

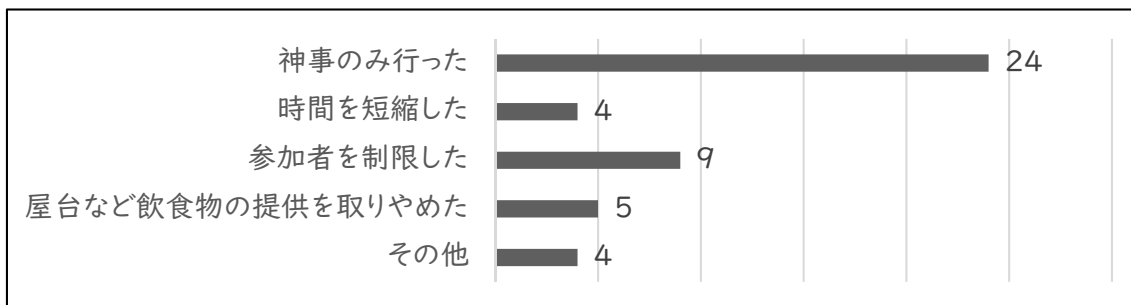
【中止した場合】

問9 中止したことについて区民・氏子などの反応はいかがでしたか



【縮小して実施した場合】

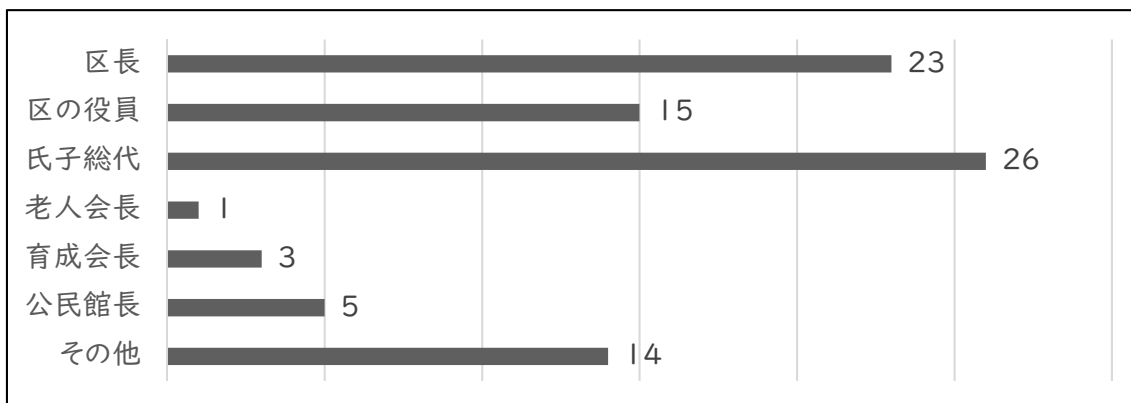
問10 どのように実施しましたか（複数回答可）



▼その他

- ・御船の曳航中止、小学生の太鼓の披露のみ行った。
- ・お船は中止。飾りのみ、屋台はおふりよのみ保存会会員のみでやった。祭囃子は保存会会員9人でやった。
- ・練りは中止
- ・登幟、提灯等の飾り付け、音響等実施

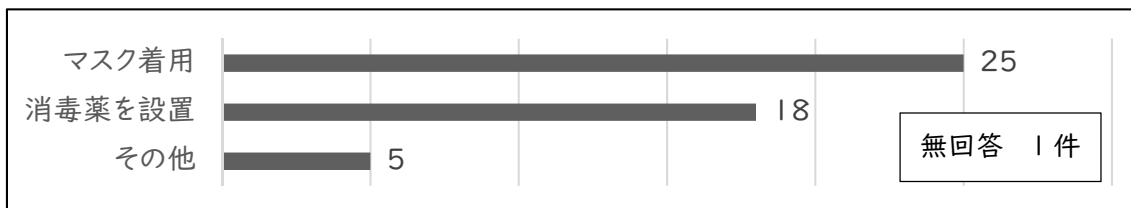
問 11 神事に参加した方の役職を教えてください（複数回答可）



▼その他

保存会役員、保存会、市長・県議・国会議員・市議、消防団部長、環境保全組織代表（耕地関係）・常会代表・消防団代表、歴代氏子総代、祭の担い手の団体、正副常会長、保存会役員、年番長、PTA 小中役員・年番・若連・消防団

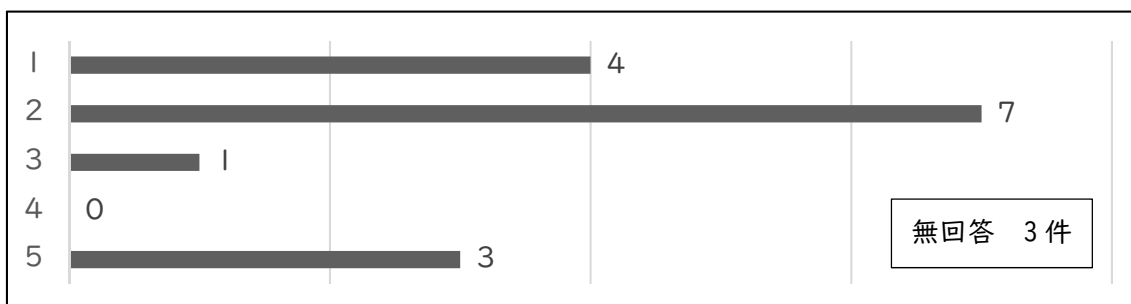
問 12 どのような感染予防対策を行いましたか（複数回答可）



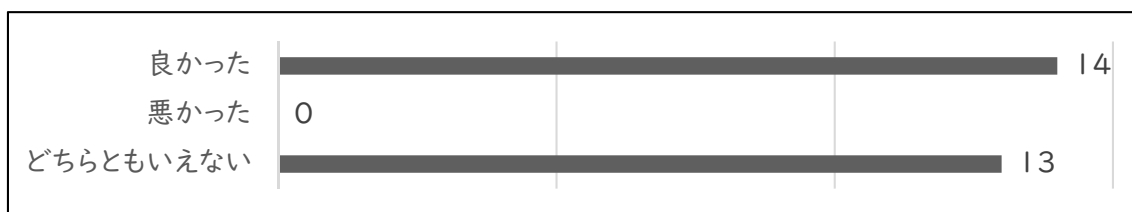
▼その他

- ・参拝者の順路を決めた。保存会会員が案内した。
- ・フェイスシールドの着用
- ・席の間隔を空けた
- ・並ぶ椅子の間隔をあけた
- ・御船は作らない、浦安の舞実施しない、参道の灯籠設置しない⇒事前の作業 人が集まる作業を極力減らした。
- ・飲食中止
- ・祭り準備作業の動員を全戸から隣組長。常会長のみに絞った。

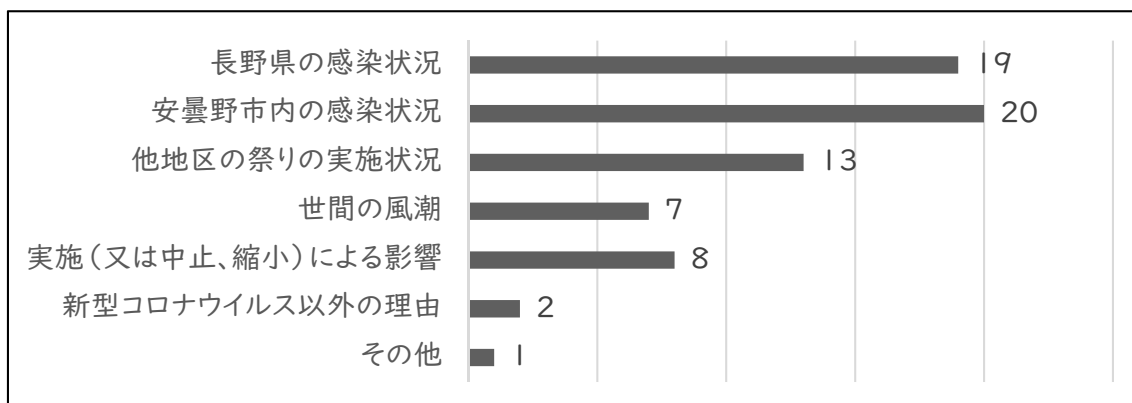
消毒薬設置数



問 13 縮小したことについて区民・氏子などの反応はいかがでしたか



問 14 今後、祭りの実施についてどのようなことを考慮しますか（複数回答可）



▼その他

後継者の養成

問15 下記の項目についてご自由にご記入ください

※祭りが特定され得る部分のみ市教育委員会が加工

○昨年（令和2年）までと比較して工夫した点・苦労した点

新型コロナウイルスの拡大によって、判断に迷った。昨年同様に子供中にまかせるのも怖いですが、主体が子供中ということで、縮小しながらも、お参りだけは実施することにした。
<ul style="list-style-type: none">・伝統ある奉納獅子舞であるため、練習には最小限必要人数にて行った。・獅子頭はかぶらず動作のみ及び順路のみの確認 総仕上げには獅子頭のかむところにタオル等巻いて行い短時間終了するよう心掛けた。・神楽の曳航はなし。車で運搬、奉納のみ行いました。
保存会会員は消毒薬、マスク、シールドをして飾り物を事務所の内はできるだけ離れ、外で作業をして解散した。飲食は中止
<ul style="list-style-type: none">・実施の決定時期（10月）と開催時（1月）の状況の大きな変化・中学生の不参加
昨年中止した御柱を立てる 奉納先には神事のみ行うことで了解いただく（飲食なし）
獅子舞奉納にあたり、三密を避けたく、あえて奉納時間は告知しなかったが、参拝客自体が非常に少なく、静かであった。
中止する場合の標準的なルールが無いいため、実施しようという意見もある中で、実施した場合の影響に不安があることから中止の決断に至るまでの心労。
コロナでの散密
コロナ対策で祭りを縮小（お舟を出すことを中止）及び社務所での「直会」の中止を行った。このため招待者の縮小を行った。このため地区内への通知文書を例年とは別に何通も作成した。
感染予防の実施 マスク着用
密を避ける為にどこまでの作業をするか？昨年度をベースに考えた。
結果的に、全員、中止という決定に異存はなかったが、準備に要する期間の関係で、実施予定日の3か月も前に、感染状況が変化する中決定を急がなければならなかったこと。
<ul style="list-style-type: none">・2年間舟祭りを中止したため、施設、道具の保全が不十分。施設の老朽化（床落ち）がおり、修繕実施。・氏子中（全戸）によるお宮周辺整備（草刈り、道路整備等）が中止となり、氏子総代のみで実

○継承・継続に関する心配事

再開のタイミング
精通している大人、保護者もいるので、別にない。
2年間準備作業等を行っていないことから、役員の退会等により、準備に手間取るのではないか。又、会員の参加の状況が益々悪化するのではないかと懸念がある。
事業継承（柴舟の作り方等）
青年会終了（27才）からの保存会への移行ではあるが人数も少なくなってきました 絶やすことなく少数精鋭でも実施したい
子供の太鼓等、人数不足に依る継続が困難になりつつある。
<ul style="list-style-type: none"> ・祭り囃子の小学生～の伝承、継承できるのか？ ・飾り物作成は1年やらないと感覚を忘れてしまう。
伝統行事のため、長期に亘る中止は大いに問題
<ul style="list-style-type: none"> ・制作委員の高齢化 ・曳きの若衆の人員集め
祭囃子は子供達（小学高学年）にお願いするが間が、あくど伝承がむづかしい 但し、2年位のブランクは取り戻せる自信はある。
気持ちは上記であるが、舟造りなどの技術の継承が心配である。
昨年、今年と中止になり祭り経験のある氏子総代がない
子どもはや子の練習ができず、中止のままとなり再開した場合に人数が集まるかが不安です。
継承が希薄になる。
お舟を2年間出さなかったことにより、子供による「お囃子」ができなかったため、今後子供に対する指導が大変と思われる。
2年続けて、規模を縮小し行ったため、これからの祭事の継承、継続を心配しています。
<ul style="list-style-type: none"> ・露店等、皆で分担して行ってきたが、次回の時にうまく運営できるか。 ・本来どのような姿で祭りを行って来たか、判らなくなってしまう。 ・おはやし等、継続が難しくなってしまう
コロナ禍のためとはいえ、2年続けて中止となり、来年以降の実施も不透明であることから、担い手の団体・グループメンバーの士気の低下や参加人数の減少が懸念される。 また、神楽、船の曳航、浦安の舞の担い手である青年層、小学生（高学年）女子の減少で継承に苦心してきたが、2年続けての中止で、担い手育成の絶好の機会（練習）がなくなってしまう、継承の途絶を危惧している。
2年間開催が無いので引継ぎが問題となる。
（お舟祭りに関する）係る役員、子供（年齢制限あり）の継承ができていない
新型コロナウイルス感染症により2年続けて船奉納を中止しましたが、近年、舟づくりに精通する方の高齢化や作り手の減少等により、船の継承が困難になってきている中でのこの2年間の中止の今後に及ぼす影響が心配。
若衆は獅子舞等が継承できるよう定期的に練習して居ますので心強いです。
お舟づくりを中止し、小中学生によるおはやしも2年間実施しなかったため、伝承が心配である。

○来年以降の展望（実施の予定など）

未定
R4.1.9～10に道祖神 鳥追いを実施予定 今後のコロナ感染状況により縮小か中止となる場合あり。
新型コロナウイルスの流行にもよるが、今の状況ならば以前のように完全な形で、実施したいと考えている。
現在の感染状況を考えると、実施できるのではないかと思われる。
令和4年度は実施する予定。
現状であれば、ぜひ実施したい
新型コロナウイルス感染症が終息したら春一番の祭典が盛大にとり行われる事を願う
来年は舟の制作、飾りつけを行い、できれば舟の曳航を行いたい。
お祭は区民の楽しみであり、できる限り実施したい。
工夫をしながら、又、地域の状況により判断
例年通りに実施したい
2022年は、ぜひ祭典実行できれば良いが、心配です。地域文化の伝承に取り組みたいものです。
コロナ終了後行事は全部行いたい
・コロナの感染状況を見て判断する ・神事は行う
現状で、感染が抑えられているようだったら是非とも再開したいと考えている。
本年と同様状況を見て行う
今後の予定は決定はしていないが、コロナの状況、他地区の祭りの実施状況を見て、総代が決議することになるまた、宮司さんとの協議もする。
例年通りに行きたい。
本来の祭典を行うことを基本に進める。
準備に要する日数を考慮すると、今年度のように、新型コロナウイルス感染症の感染状況をにらみ、祭典日の3か月前の7月中旬に、区役員、総代、担い手団体代表が集まって可否を協議し決定していくことになるだろう。ただ、現在のところ、全く白紙である。 仮に感染警戒レベルが一番低くても、ある意味では祭の祭たる由縁の「密」と「飲食」には最大限注意しなければならず、お囃子の練習、浦安の舞の練習、舟づくり、出店…など、祭がまた実質的に実施不可能になる可能性もある、と個人的に心配している。
参道（市道）の崩落等により実施不可能と思われる。
保存会員の募集によりコロナ終息後は実施の方向で進めたい。
年中行事が多々過ぎ、今後どのように神事を行っていたら良いのか。それでも今年含めて神事だけは行ってきたが、多々過ぎる仲で行って参りました。
コロナが納まれば今まで通り盛大に実施する予定です。

○区民・氏子等からの意見・要望

再開のタイミングをどうするか。どう判断するか
なるべく行事は実施するようにと、要望されている。
昔からの伝統ある獅子舞を絶えることなく続けてほしい
実施ができて良かった。
区民からの要望は多々あるが、二年のブランクのため区長、氏子総代の熱意が感じられない。今後のマンネリ化が心配です。
まだつかみきれていないが、2年間の舟造りなど実施できていないので技術の伝承に不安があるという声は多くある。
区民、氏子等から特に意見、要望はないが、早くコロナが終息し、通常通りの祭りができればいいとの要望が出ている。
コロナ禍の中で、縮小やむなしの声。
区民が集い、しかも世代間交流のある数少ない（いや、唯一の）機会である祭りの中止を、やむを得ない事情からとはいえ、皆寂しく思っている。 継承の観点から、今後何年か実施できない場合も考えに入れ、音声や映像による保存ということも検討していかなければならない。
今年で2年連続神事のみとなり淋しく思います。

○その他

小学生～の祭りの伝承は、通常であればよい。コロナウイルス化では、PTAでは・50%中止、・感染予防対策をして25%、・良いは10% あとその他
区内の住民構成が、旧、新が入り混じり、どこの市内地域も同じと思うが、地域文化が、おざなりになる傾向がみられる。下がって、保存活動の継続が危ぶまれます。
・市道の修繕を陳情している（数年）が、予算難という事でそのままとなっている。 ・毎年危険な状態でお舟祭りを行っているが、高齢化や少人数化が進み、これ以上は限界と思われます。